

子どもの学習支援ボランティア

協力団体名●金沢市社会福祉協議会／代表者名●首我千春(経済学部教授)

はじめに

子どもの学習支援事業は、金沢市社会福祉協議会(以下、金沢市社協)が中心となり、生活保護受給世帯または生活困窮世帯における「貧困の連鎖」を防止するため、金沢市、金沢市教育委員会、金沢大学、金沢星稜大学と連携し、中学生の高校進学に向けた学習支援と社会的居場所づくりといった事業である。加えて、中学生時に参加していた生徒についても高校入学後も参加対象とし、高校中退防止に向けた支援を行っている(金沢市社協「平成30年度 子どもの学習支援事業 事業報告」より引用)。

本学の学生は子どもの学習支援ボランティアとして参加し、子どもの人権保障・子ども個人の尊重を実践から学ぶとともに、子どもの貧困問題について理解を深めている。なかには教員志望の学生ボランティアもあり、実際に子どもたちに接し実践を積み上げている。

活動内容

中高生参加登録者および学習支援ボランティア登録者は以下の通りである。

中高生参加登録者：44人

▶中学生20人、高校生24人

▶生活保護受給世帯28人

▶生活困窮世帯16人

▶2019年度新規登録者12人

学習支援ボランティア登録者：51人

▶金沢大学39人

▶金沢星稜大学12人(経済学部・人文学部)

(金沢市社協「令和元年度子どもの学習総合支援事業の利用実績(4月～1月)より引用」)

学習支援ボランティアは、以下のような講義を受講後、ボランティアとして活動している。

- ・「生活困窮者自立支援制度と子どもの学習支援事業について」(金沢市社協専門員)
- ・「貧困と教育保障について」(金沢大学教員)

- ・「中学生の学習支援について」(金沢大学教員)
- ・「中学生の進路指導等における注意点について」(金沢市教育委員会)
- ・「学習支援ボランティア活動上の留意点について」(金沢市社協専門員)

以上のように、ボランティア活動のみではなく、多様な学びの機会を得ている。

活動について

- ・月2回土曜日教室(9時から17時：1人2時間程度)では学習支援ボランティアによるマンツーマン指導が行われている。
- ・毎週金曜日教室(16時から19時)は学習支援ボランティアを2～3名配置し、定期的・継続的な学習の支援が行われている。
- ・夏休み教室(16時から18時)学習支援ボランティアによる学習の支援
- ・交流イベントでは、バーベキューや調理実習とレクリエーション等にもボランティアが参加し、子どもたちとの交流を深めている。
- ・大学生の学習支援ボランティアが紙面を作成し、教室参加者や参加対象世帯に「学習支援だより」を発行している(月1回発行)・教室の様子やイベントの報告、生活アドバイス、参加募集案内といった内容である。クイズ形式にしたりと子どもたちに興味を持ってもらえるよう工夫を凝らして作成している。

成果、結果の考察

学習支援ボランティアは子どもたちが安心して生活できるように、または楽しく過ごすことができるように自ら考え実行に移している。また、常に社協の職員との話し合いを行っており、社会の一員として重要な役割を担うことへの責任感も生じている。

謝辞

金沢市社協職員のみなさまにはボランティア学生を受け入れ、ご指導いただき、また本年報作成にあたっては資料等をご提示いただき、心より感謝申し上げます。